（報告様式４）

**青字は注釈・例示等を示しています。**

**提出時は、青字・吹き出し、（参考１）等は全て削除してください。**

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム

大学・エコシステム推進型

大学推進型

「研究開発課題名（プロジェクト名）」

支援期間中における起業説明書

研究代表者：○○大学　○○　○○　（所属　役職）

プログラム代表者：○○大学　○○　○○　（所属　役職）

20＊＊年＊＊月＊＊日

**１．ベンチャー設立の理由**

※支援期間中にベンチャーを設立する理由（契約交渉、知財対応等）を記載してください。（本事業はベンチャー設立を目指す研究者を支援するものであり、原則ベンチャー設立後は支援終了となるため）

**２．設立するベンチャーの概要**

社名：

所在地：

資本金：

役員：

事業概要：

VCファンド等からの出資の有無：

株主比率：

**３．資金計画**

※当初計画時の予算とベンチャー設立後の経費内訳を表などにより比較する形で記載してください。

※特に、当初の予算計画に対して、ベンチャー設立による変更点（減額要素例：ベンチャー企業で雇用する人件費、事業化支援経費、インキュベート施設借料、顧客候補面談費用、顧客獲得のための試作制作費等）が分かる形で記載してください。

「当初予算」には、研究開発課題の計画時の予算（計画様式3-2の金額）を記載ください。

「大学」部分には、本事業で支出する金額を記載してください（当初計画から変更がない場合は、「当初予算」に記載の金額と一致します）。

|  |  |
| --- | --- |
|  | ●●年度 |
| 当初予算 | ベンチャー設立後 | 主な使途※黒文字（大学で支出）　赤文字（ベンチャーで支出） |
| 大学 | ベンチャー |
| ①物品費 | 千円 | 千円 | 千円 |  |
| ②旅費 | 千円 | 千円 | 千円 |  |
| ③人件費・謝金 | 千円 | 千円 | 千円 |  |
| ④その他 | 千円 | 千円 | 千円「ベンチャー」部分には、設立後にベンチャーでかかる費用（登記費用や人件費など、ベンチャー持ち出し分）を記載してください。これは本事業の予算ということではなく、設立したベンチャーでかかる費用を記載する箇所です。 |  |
| ⑤間接経費 | 千円 | 千円 | 千円 |  |
| 合計 | 千円 | 千円 | 千円 |  |

研究開発課題の支援終了までの期間において、大学で行う研究開発以外に設立ベンチャーとして実施する活動内容について記載願います。

|  |
| --- |
| ※記入例１．医療機器の製造販売業の承認を受けるための手続き２．人材採用３．諸制度整備４．治験の準備その他の研究開発については、計画通り大学で行う。 |

**４．大学等との取り決め、利益相反に関する検討**

**・大学等と設立予定ベンチャー企業との間の取り決め**

※知的財産等について、大学との事前の相談等で取り決められた方針等がありましたら記載してください。

**・利益相反に関する検討**

※大学等とベンチャーとの間に利益相反の恐れが想定される場合は、どのようにマネジメントするのか、その計画を記載してください。

以上